



# 美しい田園21通信



〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

**NPO 美しい田園 21**

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール [npo@denen21.jp](mailto:npo@denen21.jp)

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

## 目次

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 御前山ダムの春季活動   | 関東支部            |
| 1) ダム湖周辺を歩く会    | 2) 御前山ビオトープ育成活動 |
| 3) 御前山小学校の自然観察会 |                 |
| 2. 両総の路ウォーク《佐原》 | 関東支部            |

### 1. 御前山ダムの春季活動 関東支部

#### 1) ダム湖周辺を歩く会

平成29年4月16日(日)に恒例の御前山ダム湖周辺を歩く会が開催されました。一般申込160名、関係者約30名の計190名の参加がありました。

桧山大橋ではエノキの記念植栽を行い、良い記念になったと夫婦で参加された方、来年も必ず参加しますと県北から参加された方、御前山ダムが見えるので存在は知っていたけどなかなかチャンスがなくて来ることができなかったけど、こんな機会があって参加できてよかったと友達と参加された方など、とても喜んでもらえました。

昼はおにぎり2個と豚汁を用意し、口々に美味しかった!ダシが良かった!と話してくれました。何人かの方に秋はやらないんですか?と聞かれ、また企画する必要があるようです。

#### 2) 御前山ビオトープ育成活動

##### 地元から挨拶、作業打合せ



平成29年5月30日(火)  
今年第1回目の御前山ビオ

トープ育成活動を行いました。今回の活動目的は通常の生態系に配慮した順応的管理(アダプティブマネジメント)に加えて、同日午後から行われる子供たちの自然観察会が安全に行われるように周辺整備することです。

現場を確認すると、地元の皆さんが、階段教室の丸太ベンチとログハウス前のデッキ板張替えを行って立派に改築されていました。また九輪草はちょうど満開の花を咲かせており、地元女性グループが早朝から草取り作業をしてくれていました。

下池のガマとヨシが増えすぎてバランスが崩れていたのを整理すること。水芭蕉は順調に生育していますが、実生の苗は成長に年数がかかるので、株分けで上の湿地に拡大することにしました。ナガエミクリ、タコノアシ、アギナシは元気でした。林間のフタバアオイは旺盛に斜面を這い上がり柵の外まで増えていました。イヌショウマも背が高く成長していました。暑い一日で作業を始めると大汗をかいてきます。途中休憩と水分補給を行い、昼近くには見違えるようにきれいになりました。これで、午後の自然観察会も安心です。

昼食は地元で用意してくれて、働いた後の食事は格別でした。昼食の合間に、当NPOから集落の片隅から採取した特定外来種オオキンケイギクを示し取り扱い等についてワンポイント講義を行いました。



御前山ダム湖に映える山桜



山桜新緑ウォーク



草刈り草抜き作業

### 3) 御前山小学校の自然観察会

同日 5 月 30 日 (火) の午後は御前山小学校 5 年生の自然観察会が御前山ビオトープにおいて行われました。講師はヒヌマイトトンボの発見者として有名な茨城県環境アドバイザーの「廣瀬誠先生」です。

最初に約 30 名の児童が 4 人ずつのグループに分かれて大人が付き添い、虫などを採取します。子供達は生き物を発見するたびに大騒ぎです。蜘蛛や尺取虫には悲鳴をあげて逃げ出しましたが、カエルやトカゲを見つけると大声で追いかけてきました。

昆虫は地上や空中だけではなくとアドバイスして池の中をタモで探ると、大きなゲンゴロウを捕獲して皆が鼻高々の大喜びでした。

一時間弱でかなりの種類を捕獲できたので、グループ毎に持ち帰り廣瀬先生から興味深い説明トークをもらいます。それぞれ東京ダルマガエル、カナヘビ、イモリなどなど実に多彩な生き物が捕獲できて驚きでした。子供の低い目線と好奇心は大人に見えないものも見えるようで感動しました。

ビオトープ造成直後に移植したメダカやハッチョウトンボ、オオムラサキなども、今回あらたに生息確認できました。また、

沢山の生き物に大喜び



廣瀬先生の説明トーク



大小の赤ガエルについて、オタマジャクシを含めると親子 4 世代が同時に確認できて、自然生態系が豊かに安定している証明と専門家の高い評価をいただきました。何よりも子供達と一緒に大騒ぎして走り回り、楽しい観察会でした。



集合:楽しかったね!

## 2. 両総用水の路ウォーク《佐原》

平成 29 年 6 月 3 日 (土) に「両総用水の路ウォーク《佐原》」が開催されました。両総用水の路ウォークは、両総用水の関係市町で開催され今年で第 7 回となりました。

両総用水の路ウォーク《佐原》は、NPO 法人千葉県ウォーキング協会が主催者となり、両総土地改良区（両総用水事業推進協議会）が中心に、千葉県、香取市、(独) 水資源機構とともに美しい田園 21 が支援して実施されました。天気が良く、熱中症が懸念される気候でしたが、参加者 155 名が約 15km のウォークを楽しみました。

コースは、両総用水の第 1 揚水機場を起点・終点として、第 1 揚水機場の見学からスタートし、利根川からの導水路沿いを進み、北部幹線を横切り、伊能忠敬記念館、小野川沿いの佐原宿の景観を見て利根川に出ました。利根川では利根川両総水門を見て第 1 排水機場を見学し昼食としました。第 1 排水機場の昼食会場では地元の汁物の提供があり、参加者はお代わりをする方もいました。午後は、第 1 排水機場の受益地の水田と大須賀川排水路沿いを歩き第 1 揚水機場に向かいました。

各施設ではパネルで参加者に説明するなど、両総用水の農業水利施設の PR となりました。来年は、別の市町での開催が予定されています。

小野川沿いの宿場と参加者



利根水門と参加者